

第13回全国アクトニュース

NO. 2 2004. 12. 17 第13回全国アクト実行委員会

ニュースへのリクエストやアクト関連の取組み報告などをお寄せください！

日本医労連 FAX:03-3875-6270 or E-mail : seinen@irouren.or.jp

*このニュースは各加盟組織と各県青年（分かる範囲で）に送っています。

第2回全国アクト実行委員会を開催しました！

日本医労連春闘討論集会翌日の12/12（日）朝から夕方まで、日本医療労働会館で現地・北海道10名+日本医労連青年委員11名のあわせて21名で、第2回目の全国アクト実行委員会を行いました。そこで現地実行委員長（全日赤伊達単組の西晴美さん）の確認や、今回の全国アクトのテーマや目的の確認、財政活動グッズや宣伝物について話し合いました。

○企画・内容・運営などに関わる主な意見は・・・

- ・受付は、空港からのバス中の時間をうまく活用して混雑しないように計画する。
- ・食事を楽しみたいという要求もあると思うので、食事の時間は充分取れるよう配慮する。
- ・班が仲良くなれるように、打ち解けられるような企画を1日目に工夫したい。
- ・テーマにそって、かつ企画を詰めすぎずに、北海道を感じてもらうことが大事。
- ・北海道の自衛隊の問題やアイヌの歴史など北海道にまつわる問題について、聞ける・実感できたらいい。
- ・情勢的には憲法や被爆60周年などの年になることも考慮した方が良いでしょう。
- ・学習は、必ずしも記念講演などの形式にはこだわらずに、「楽しかった！」+ で何か持ち帰ってもらえるよう工夫したい。

→ 企画の大枠（3日間の全体像）については、出された意見も考慮しながら、各単組より1月30日の現地実行委員会に持ち寄ってもらい、議論していきます。

☆第13回全国アクトのテーマは・・・

「**FELLOWS！ REFRESH！！**～大空と大地の国から 2005～」

「悩みを共有し、相談できる仲間たち（FELLOWS）をつくり、心身の疲れを癒やし、原点・初心に戻る（REFRESH）するようなアクトを、北海道の大空と大地の下で成功させよう」という思いを込めました。

